月刊みんぱく 2017 8月号

編集後記

本館は、「みんぱく」と親しみを込めて呼ばれている。正式に書くと「国立民族学博物館」となるように、民族学を中心とする研究所である。18世紀末に生を受けたシーボルトは日本において民族学的な資料の収集をおこない、そのコレクションから日本博物館を開設した。「民族学」と「博物館」というキーワードを介して、いわば本館とシーボルトはつながるわけである。本号では、そうした彼の日本博物館が150年ぶりによみがえる特別展「よみがえれ！ シーボルトの日本博物館」と連動する特集を組んだ。民族学や博物館のありようは、シーボルトの時代から大きな変化を遂げている。40周年という節目を迎えた年に当館で開催されるのも何かの縁であろう。個人的には、本展示を通じて時代や学問の変化を見返すとともに、民族学博物館の将来について考える機会としたい。（丹羽典生）

●表紙：フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト著『日本からの公開状』
シーボルトとその長男アレクサンダー
ミュンヘン五大陸博物館蔵
©Museum Fünf Kontinente, Munich（MFK）

次号の予告

特集

企画展「カナダ先住民の文化の力——過去、現在、未来」関連

みんぱくをもっと楽しみたい人のために——会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

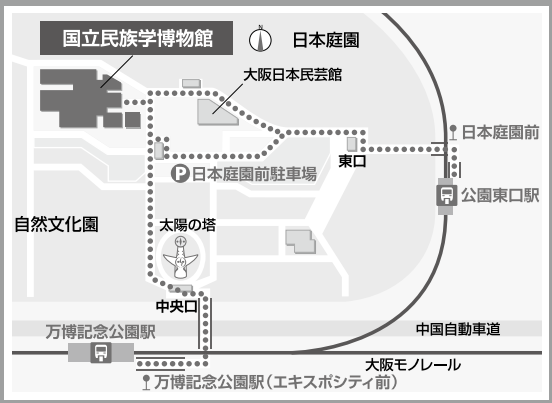
詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話06−6877−8893／平日9：00～17：00）

月刊みんぱく 2017年8月号
第41巻第8号通巻第479号　2017年8月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　園田直子
編集委員　丹羽典生（編集長）　寺村裕史　三島禎子
南真木人　山中由里子　吉岡乾
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　能登印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック
https://www.facebook.com/MINPAKU.official/
みんぱくツイッター
https://twitter.com/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology